

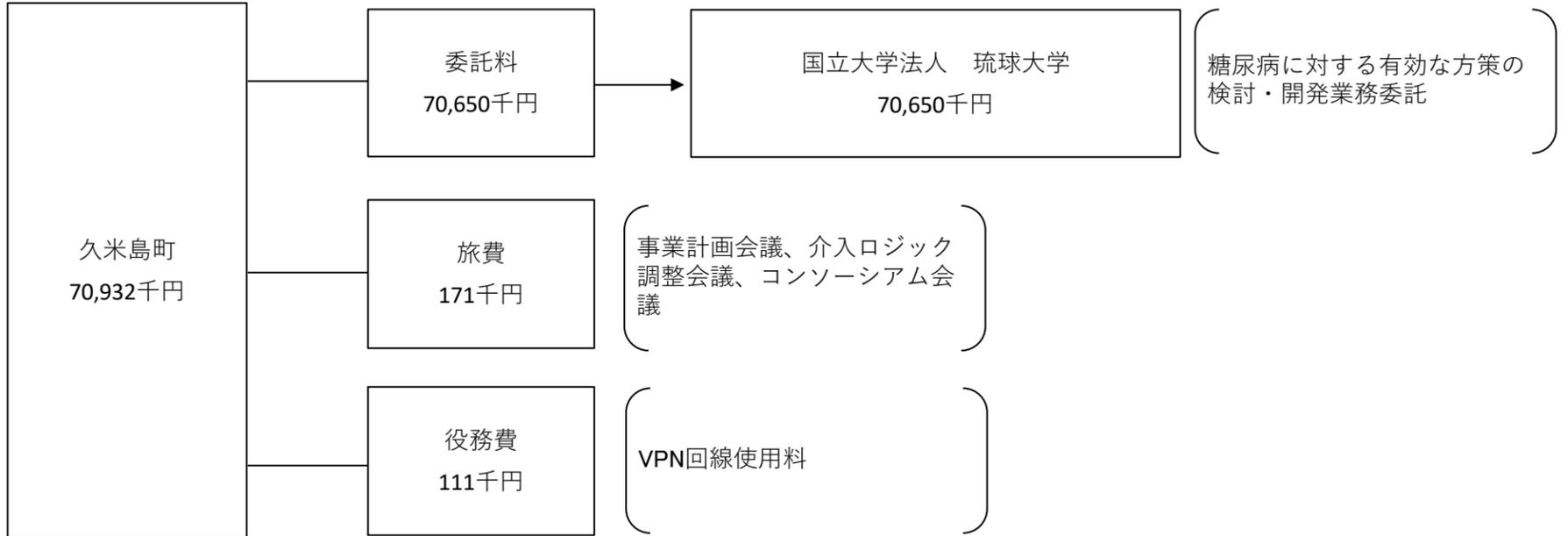
市町村名	久米島町										
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート											
事業名	久米島町健康増進事業			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他						
担当部課名	福祉課			事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度						
事業内容	糖尿病の因子解明に向けた調査研究及びスマホアプリ等を活用した健康支援システムの構築を行う。 先導性に係る取組 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 自立性</td> <td><input type="checkbox"/> 政策間連携</td> <td><input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 官民協働</td> <td><input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>					<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成	<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成									
<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他									
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和1年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度							
	予算の状況	(a) 当初予算額	184,134	71,233							
		(b) 予算現額	173,784	71,233							
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,350	0							
		(d) 繰越額	0	0							
		A. 計(b+d)	173,784	71,233							
	B. 執行済額	164,514	70,932								
	うち補助金充当額	131,611	56,745								
	次年度繰越額	0	0								
	執行率(%) (B/A)	94.7%	99.6%								
予算の状況の説明	当初の計画どおり、本町の糖尿病に対する有効な方策の検討・開発するための研究を適正に執行することができた。不用額301千円については、研究参加者が予定より減少したことによる費用の減である。										
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況								
	血液、排せつ物の解析を行い糖尿病を誘発する因子の解明	目標	(実施)	(実施)	()	()					
		実績	実施	実施							
	事業参加者数	目標	(-)	(500)	()	()					
		実績	-	347							
	糖尿病解決のためデジタルデバイスを活用した方策の検討	目標	(実施)	(実施)	()	()					
		実績	実施	実施							
達成状況説明	○被験者を募り、観察研究、介入研究等を進め、糖尿病を誘発する因子の解明を行った。 ○事業参加者数(被験者数)は、観察研究(178人)、介入研究:介入(65人)・非介入(48人)、排尿研究(56人)の合計347人となり、目標とした500人を下回った。 ○デジタルデバイスを活用した健康支援も本町独自の生活支援の方法として検討した。										

成果目標(指標)	成果目標(指標)	基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	生活介入により、ヘモグロビンA1cの値が改善された町民の数	目標	(-)	(20人)	(30人)	(-)
		実績	-	-	11人	-
	【参考指標】 ヘモグロビンA1cの値が改善された被験者の割合	目標	(-)	(-)	(60%)	(-)
		実績	-	-	-	-
	【参考指標】 介入前より体重が1kg以上減少した被験者の割合	目標	(-)	(-)	(60%)	(-)
		実績	-	-	-	-
進捗状況説明	<p>○デジタルデバイスを活用した介入研究では被験者76人中11人が中断、残った被験者65人中11人にHbA1c改善が見られたが、目標とした20人を達成できなかった。</p> <p>○糖尿病罹患と相関関係の大きいメタボの改善指導に取り組むため、R1年度事業はHbA1cの値が改善された者の割合、体重が減少した者の割合を指標とする。</p>					
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)		
	<p>○町が実施する健康診断の会場で被験者を募集し、健診結果を参照して個別にアプローチしたため本事業に興味を持ってくれる方が多く見られたが、プログラムへの参加には至らなかった方も多かった。また、プログラムに参加しHbA1cの値が3ヶ月目に27.6%改善しても、改善状況が継続できないケースが5割あった。</p> <p>○健康管理支援システムについて、幅広い世代が抵抗なく利用ができるよう操作性改善が課題となっている。</p>			<p>○町民がプログラムに気軽に参加し、また継続していけるような仕掛けが必要である。</p> <p>○システムの操作性について、頻繁に使う機能へのアクセス性を高め、また住民生活や地域性を踏まえた内容を盛り込むことで操作性を改善させていく。</p>		
今後の取り組み方針						
<p>○健康状態に改善が必要な方だけでなく、多くの町民がプログラムに参加することで、未参加の方も気軽に参加し、継続性も高まると考えられる。町民全体を対象とした健康講演会等を開催し、幅広い参加を促していく。</p> <p>○アプリについて、頻繁に使う「デジタルヘルス」の画面へのアクセス性を高めるために改修を行う。また、食事内容を登録する選択肢に地域の食生活を踏まえた選択肢を追加し、実態に沿った登録ができるよう改修する。</p>						

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
70,932	70,932	56,745	14,187	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・用途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は、事業の専門性や効果的な実施、これまでの実績を熟慮し選定しており妥当である。また、地方自治法施行令第167条の2第1項の規定により随意契約としている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1%未満であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ検収時において確認を行い適正であった。

市町村名	久米島町					
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート						
事業名	久米島の産業魅力向上プロジェクト事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他	
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	
事業内容	島内事業者の経営改善及び新規事業創出を促すため、セミナー開催や専門家派遣等の支援を行う。					
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他			
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,561	9,715		
		(b) 予算現額	19,561	9,715		
		(c) 増減額(b-a)	0	0		
		(d) 繰越額	0	0		
		A. 計(b+d)	19,561	9,715		
	B. 執行済額	12,889	8,664			
	うち補助金充当額	10,311	6,931			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	65.9%	89.2%			
予算の状況の説明	概ね当初計画通りの予算執行であった。不用額1,051千円は打ち合わせやセミナー・勉強会等を包括的に実施できたため、旅費等事務局費用が計画より数量(回数)を変更(減)したことによる執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度	H30年度	R1年度	
	企業ブランディング支援対象社数	目標	(3社)	(3社)	()	()
		実績	3社	3社		
	中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)実施回数	目標	(3回)	(3回)	()	()
		実績	3回	3回		
	中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)参加企業数	目標	(5社)	(5社)	()	()
実績		5社	5社			
達成状況説明	企業ブランディングにおいて、経営理念や経営戦略、経営目標の策定に支援を行い、企業全体のブラッシュアップが図られた。中核人材育成については、地域課題をテーマにした研修会や勉強会を開催し、各企業の中核人材のスキルアップに繋げる事ができた。					

成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	
			(-)	(-)	(4)	()
クラウドファンディング(成立)件数	目標		(-)	(-)	(4)	()
	実績	-	0	0		-
成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	
【参考指標】 中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)参加者数	目標		(-)	(20人)	()	()
	実績	-	44人	15人		-
【参考指標】 経営改善支援を受けた者のうちアンケートにより経営改善に必要な知識、ノウハウが習得できたと回答した割合	目標		(-)	(-)	(80%以上)	()
	実績	-	-	-		-
【参考指標】 クラウドファンディングを実施した企業の目標支援金額達成率	目標		(-)	(-)	(100%)	()
	実績	-	-	-		-
進捗状況説明	<p>○クラウドファンディングについては、制度や手法等の必要な知識習得の支援を行い、次年度のクラウドファンディング実施に向けた環境構築ができた。</p> <p>○中核人材育成については、参加者数が目標を達成できなかったが、企業を担うリーダー人材のスキルアップに繋げることができた。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>○支援の対象としている事業者は島内の中小・零細企業であるため、専門家派遣や研修会等の日程確保・調整等が難しく、計画通りの支援実施の課題となっている。</p> <p>○クラウドファンディングによる資金調達に関心を示す事業者はいるが、実際の実施には抵抗感があるようである。</p>

今後の取り組み方針

○支援実施の日程調整にあたっては、あらかじめ対象事業者の状況を確認し、事業者に過度な負担が生じたり、突発的な変更が生じることがないように日程を調整し、事業を確実に実施する。

○クラウドファンディング支援にあたっては、経験者の実体験を勉強会に取り入れる等、身近な手法としてクラウドファンディングの活用を推進していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
8,664	8,664	6,931	1,733	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	企画公募により選定された業者であり、これまでの事業実績から見ても妥当である。(企画公募へ1社のみの応募であったが、選定委員会で十分審査を行った。)
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、2社見積もりによるものとなっており、適正な規模となっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成する為に必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、検収時において確認を行い適正であった。

市町村名	久米島町					
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート						
事業名	久米島町電子図書館実証事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他	
担当部課名	教育委員会			事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	
事業内容	電子図書館の効果的な運営方法、利用促進手法、住民のニーズ等を検証する。					
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,293			
		(b) 予算現額	6,293			
		(c) 増減額(b-a)	0			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計(b+d)	6,293			
	B. 執行済額		6,128			
	うち補助金充当額		4,902			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		97.4%			
予算の状況の説明		当初の計画どおり電子図書館実証及び利用促進を図るためのタブレット端末を導入し、事業は適正に執行できた。不用額165千円は委託及びタブレット端末購入費の執行残である。				
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況			
			H30年度	R1年度	R2年度	
	実証実験及びアンケート実施		目標 (実施)	()	()	()
		実績	実施			
達成状況説明		○電子図書館を通して、本屋がなく読書の機会が少ない町民に読書の機会を提供することができた。 ○町広報誌やHP、ラジオで利用登録や電子図書館に関して周知を図るとともに、町イベント会場でタブレットを活用した利用体験と電子図書館利用アンケートを実施した。				

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度		
	電子図書館利用者数(利用登録者数)	目標		(-)	()	(1200人)	()	
		実績	-	286人				-
	【参考数値】 電子図書館が整備されたことで、利便性の向上が図られた割合	目標		(80%以上)	(80%以上)	()	()	
		実績	-	88.4	-			-
【参考数値】 電子図書館が整備されたことで、読書時間が増えた割合	目標		(-)	(80%以上)	()	()		
	実績	-	-	-			-	
進捗状況説明	<p>○利用体験促進イベントを2回開催し、利用体験や登録を呼び掛け、町民へ電子図書館に関する周知活動を行った。平成30年度末時点の利用登録者数は286人となっている。</p> <p>○利用者を対象としたアンケートを実施した。読書環境の改善については約88.4%が役立つと回答したほか、サービスの継続については83.3%が継続希望の回答が得られた。</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○供用開始直後の11月と12月は利用者数及び貸出冊数は多いものの、その後は急速に落ち込んでいる。</p> <p>○利用アンケートにおいて、利用しなかったと回答した方より下記のとおり回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館を知らなかった 25.3% ・インターネットを利用していない、PC、スマートフォンを持っていない 19% ・申し込んだが利用しなかった理由として、WiFiなど通信環境が悪い 14.8% 	<p>○若年層(10~20代)とネット端末保持者が少ない高齢者(50代以上)への利用登録強化が必要である。</p> <p>○追加聞き取りで、読書時間など余暇時間が少ないとの回答を得たことから、電子図書館の長所を活かした魅力的な読書環境を提供する必要がある。</p> <p>○電子図書館実証事業に関する認知を高めるための情報発信を強化する必要がある。</p>

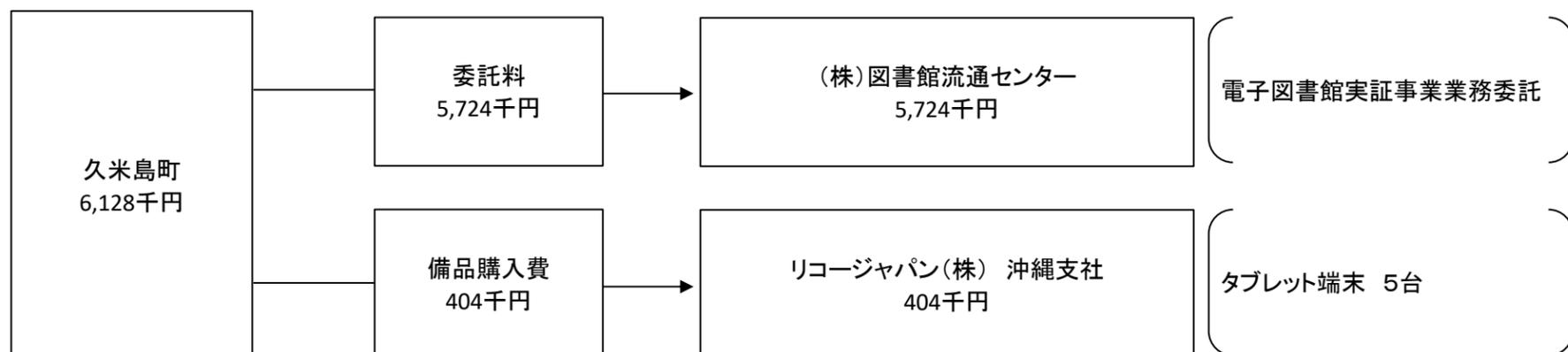
今後の取り組み方針

- 利用登録を増やすため、電子図書館を分かりやすく紹介するなどあらゆる情報媒体を活用した情報発信を強化する。
- 利用体験や利用アンケートを通して、改善点を整理し課題解決に努める。
- 電子図書館を活用した魅力的な利用方法を提示し、ネット端末の保有台数や読書時間の確保につなげる。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
6,128	6,128	4,902	1,226	0



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	公募型プロポーザルによる企画提案を審査し、実証事業に適した委託事業者を選定した。地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、専門業者から見積りを徴取し、事業を適切に執行するために必要額を計上した。不用額は3%以下であり、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用・用途については積算及び事業計画立案時点で検証しており、また検収時において確認を行っており、実証事業の目的に即して、必要なものに限定されている。

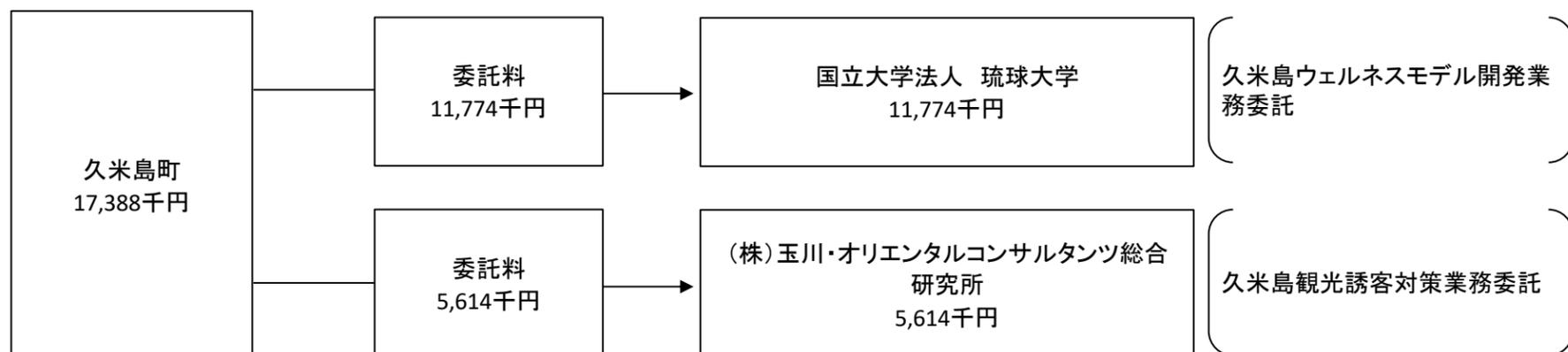
市町村名	久米島町					
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート						
事業名	海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興	
					<input type="checkbox"/> 定住促進	
					<input type="checkbox"/> その他	
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成30～令和元年度	
事業内容	観光誘客及び観光客の消費額増を図るため、海洋深層水を活用した体験プログラム等の商品開発及び体験プログラムを担う人材を育成する。					
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/>	自立性	<input type="checkbox"/>	政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	官民協働	<input type="checkbox"/>	事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他	
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,118			
		(b) 予算現額	19,118			
		(c) 増減額(b-a)	0			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計(b+d)	19,118			
	B. 執行済額		17,388			
	うち補助金充当額		13,910			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		91.0%			
予算の状況の説明		概ね当初計画通りの予算執行であった。不用額1,730千円は受託者が外注予定の業務を直接実施したことや、打ち合わせ業務の集約化等により生じた執行残。				
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況			
			H30年度	R1年度		
	海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業	目標	(1件)	()	()	()
		実績	3件			
	新体験プログラムの担い手育成	目標	(2名)	()	()	()
実績		2名				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新体験プログラムとして、企業向けや美と健康に関心の高い女性向け等の体験メニューを開発した。 ・ウェルネス人材育成プログラム開発を行い、新体験プログラムを提供する人材(担い手)としてウェルネスコンシェルジュを2名育成・確保した。 					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R4年度)	
	実用化された新体験プログラムを目的とした 入域観光客数	目標		(-)	()	()	(1,200名)	
		実績	-	-			-	
	観光客1人当たりの消費単価 新体験プログラムの客単価	目標		(-)	()	()	(10,000円)	
		実績	-	-			-	
	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)	
	【参考指標】 新体験プログラム(ツアー)への参加者数	目標		(-)	()	()	(600名)	
		実績	-	-			-	
	進捗 状況 説明	○目標に向け必要なプログラム開発(商品造成)、人材育成が計画通りに進捗している。						
	取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
○開発した新体験プログラムについて、今後は販路開拓や販売促進が課題となる。			○開発したプログラムの効率的・効果的な販路開拓及び販売促進の手法を確立する必要がある。					
今後の取り組み方針								
○開発したプログラムについて、旅行社へのセールスやモニターツアー等による周知・宣伝を行い、販路を開拓する。また、Web、SNS等を活用した販売ツールの構築に取り組む。								

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
17,388	17,388	13,910	3,478	0



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	事業の専門性や効果的な実施、これまでの実績を熟慮し選定しており妥当である。地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行った。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1割未満であり適正な規模であった。
	— 受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成する為に必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、検収時において確認を行い適正であった。